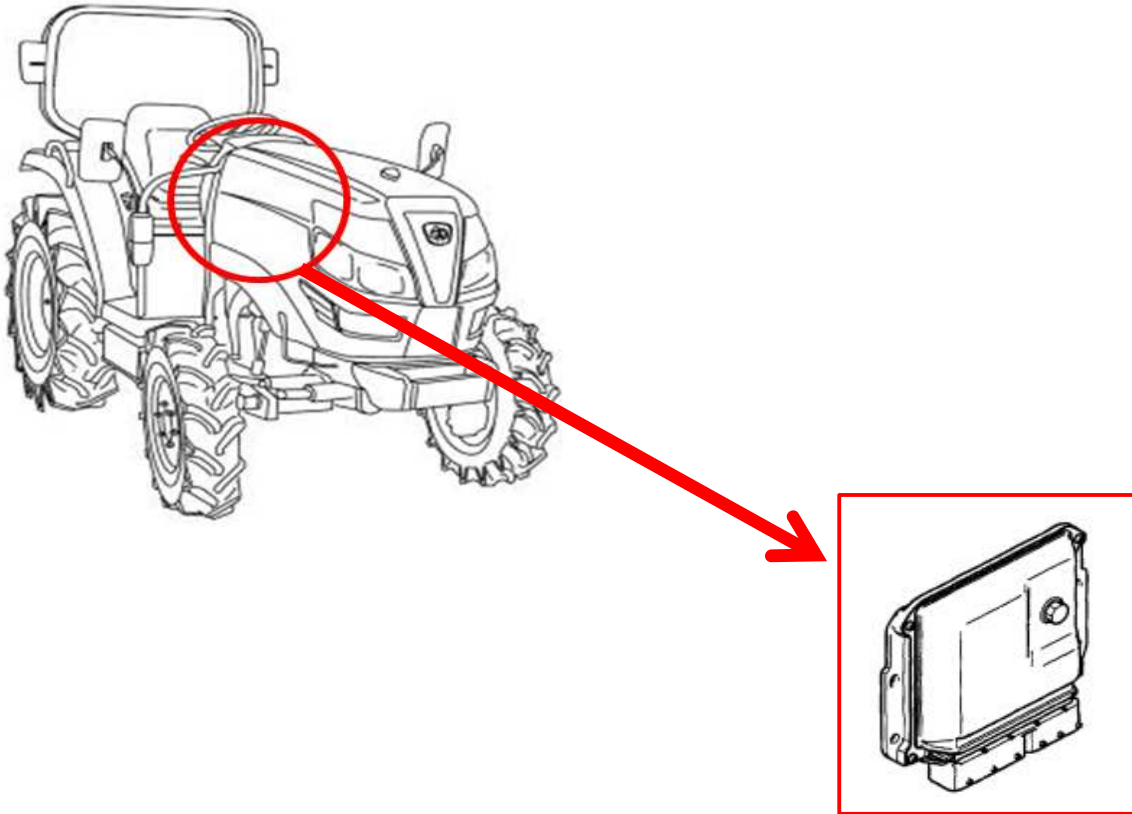


[改善箇所説明図②]



注： は、プログラムを書き換えるエンジン制御ユニットを示す。

不具合発生箇所

農耕トラクタの原動機において、エンジン制御ユニットのプログラムが不適切なため、エンジンの出力回転数が高い状態で出力トルクが低い場合、排気ガス中に含まれる未燃燃料の濃度が高くなり、当該燃料がEGRクーラに廻り込み、カーボンデポジットが生成されて吸気バルブおよびEGRバルブに付着することがある。そのため、そのままの状態では長時間駐車されるとカーボンデポジットの粘度が増加し、エンジン始動した際などに、吸気バルブが摺動不良となり、プッシュロッドがロッカアームから外れ、シリンダ内の燃焼が不良となり未燃燃料がDOCへ流れ込み異常燃焼するとともに、EGRバルブの摺動も不良となり、エンジンの出力が制限されるおそれがある。

改善内容

全車両、エンジン制御ユニットのプログラムを対策したものに書き換えるとともに、EGR回路を点検し、部品が損傷しているものは新品に交換する。

識別

オイルセパレータ上面に白色の識別シールを貼り付ける。



識別シール貼り付け箇所